

1. 江ノ電のバリアフリー化について

鎌倉市にある、JRの大船駅・北鎌倉駅・鎌倉駅の3駅は、2014年3月中旬、北鎌倉駅の東西にスロープとエレベーターができたことにより、3駅とも東口・西口からの出入り口がバリアフリー化され、とても便利になりました。

さて、江ノ電については、残すところあと3駅で、全駅がバリアフリー化されることとなります。

まず、稲村ヶ崎駅については、近々バリアフリー化されることになりました。腰越駅については、ホームが短いため、リフトを設置してバリアフリー化されます。七里ヶ浜駅については、何年か前に予算がつき、バリアフリー化される予定でしたが、近隣の何名かの方からの反対がありました。鎌倉市からも10数回かお願いに伺ったのですが、結局聞き入れていただけず、頓挫してしまいました。

しかし、江ノ電としては、七里ヶ浜駅のホーム自体を新たに鎌倉寄りに作

るので、その時にバリアフリー化などを含めた工事を行うそうなので、もう少し待ってほしいとのことでした。

この3駅がバリアフリー化されれば、江ノ電の全駅がバリアフリー化されることとなります。



北鎌倉駅スロープ



北鎌倉駅エレベーター

2. 訪問介護の充実を

鎌倉市で特に遅れているのは重度訪問介護です。この制度は、費用を国が半分を持ち、県が4分の1を持ち、市が4分の1を持つという仕組みになっています。

しかし、神奈川県がその4分の1を出さないためか、または単価が安いいためか、この事業に対しては、鎌倉市も事業所もやりたがらないのが現状です。せめて、神奈川県がその4分の1を

出せばもう少し前向きになるでしょう。神奈川県より人口が少ない県の中には重度訪問介護を行っているところもあります。なぜ神奈川県がやろうとしないのかが不思議です。

ですから、私の友人で身体に重度の障害を持ち、常時介護が必要なTさんもKさんも、鎌倉にはいたいけれども鎌倉では生活できないと、東京などに引っ越してしまいました。

このあいだの2月の一般質問においては、市長の答弁で、機会があることに神奈川県に要請していくとのことでしたが、1日でも早く、神奈川県には重度訪問介護を支援できる体制にしてもらいたいものです。

3. 障害者移動支援の使い方

現在、移動支援は、障害によって異なりますが、月の上限が30時間の方もいれば、50時間の方もいます。月30時間では旅行にも行けないので、それについて一般質問で尋ねました。